

BOOKS

「原発をやめる 100 の理由 エコ電力で起業したドイツ ・シェーナウ村と私たち」

曳地 トシ



皆さんは、「シェーナウの想い」というDVDをご覧になりましたか？ドイツの南西部に位置する人口たった2500人の小さなまちシェーナウで、自然エネルギーの電気を供給する市民電力会社が立ち上がるまでの10年間を記録したドキュメンタリー映画です。今、この「シェーナウの想い」の自主上映会が、口コミで全国に広がっています。この映画を見て希望と勇気をもたらした人たちが、今度は自分たちで上映会を開きたいと、各地で静かな広がりを見せています。また、なんとか各地域で小規模の市民電力会社を作れないかと模索する人たちも出てきています。

この映画の上映会が始まったのは今年になってからですが、シェーナウ電力会社のいきさつなどはつゆ知らず、私自身のシェーナウとのかかわりは、昨年の夏から始まっています。

昨年の8月30日、1通のメールマガジンが私のもとに届きました。福島第一原発事故が起きてしまった日本の市民のために、シェーナウ電力会社がつくったドイツ語の「原子力に反対する100個の十分な理由」を日本語に訳して、ウェブサイトにアップしてくれたというのです。ウェブサイトにアクセスして、その内容に驚きました。ウラン採掘から使用済み核燃料、再処理工場、原発の本当のコスト、被ばく労働、市民によるデモなど、これまで隠されてきた原発にまつわるすべてのリスクが網羅されていたのです。

しかも、最も驚いたことには、ドイツで脱原発ができたのは、日本の市民より意識が高いからだと思っていたのですが、原子力ムラがあったり、都合のいい情報しか流さなかったり、事故を隠べいたり、ほとんどが日本の現状と同じでした。「日本だけが遅れていたわけじゃなくて、原発を包む闇は世界中同じなんだ…」と思いました。だとしたら、日本でも脱原発はできます。

この「100個の十分な理由」を本にしたなら、原発のリスクを全部明かすことができる！と思いました。しかも、ドイツの事情に呼応するように、日本の実情も一つひとつ入れたらどうか考えたのです。おりしも、事故が起こってから半年がたち、少しずつ隠さ

れていた情報が出始めていました。

そう思い立った翌日の8月31日には、フェイスブック（以下FB）で『100の理由』の日本語版をいっしょに作りませんか？と呼びかけました。数名の人が名乗りを上げてくれました。

そして9月14日に、我が家でメンバーの初顔あわせがあり、9名のメンバーが集まりました。途中、入れ替わりはありましたが、FBで20年ぶりに再会した人が資料集めとして加わり、原子力資料情報室の共同代表の西尾漢さんが監修者として参加してくださいました。こんなことが必要だ！と思うと、思っただけでちゃんとそういう人と出会う、そんな不思議な「インナーネット（潜在意識下のつながり）」が張り巡らされていることを強く感じる日々でした。

けれども、最初のうちは、あまりにもハードルが高い原発の問題に頭を抱えるばかり。私たちのような素人には、原発の問題を本にするなんて、そもそも無理なのでは？とか、もう本にはならないのでは？と、不安ばかりが心をよぎりました。

けれども、今年の正月あたりから、メンバーの執筆がどんどん進み、ようやく4月中には100項目を達成することができました。

その間に、「シェーナウの想い」の上映会が始まり、なんとそれが、自分たちの作っている本のオリジナルバージョンを作った人たちが描かれているということが判明。ますますやる気が出てきました。

この本を作るにあたって、じっさいにドイツのシェーナウ電力会社と、何度もメールでやり取りしました。私たちが、ウルズラさん（女性の社長）のオリジナルメッセージがほしい！と言えば、サイン付きで書いてくださり、この写真がほしいと言えば、出してくれる。全面的なバックアップがあってこそ、できた本です。そこには、シェーナウの人たちの「世界中の原発をとめたい！」という強い意志を見てとれました。かれらは本気なのだから、私たちも本気にならなくては！と自分の気持ちを鼓舞しました。

そうやって1年の年月をかけて、ようやくできた「やめ100（私たちは愛をこめてこの略称で呼んでいます）」ですが、今度はまた驚くことの連続でした。FBで「本がやっとできました！」というお知らせをすると、瞬間に330人もの人がシェア（情報を拡散すること）に協力してくださり（今も加速中）、なんと見知らぬ方からも本の注文が続々と届き、本屋さんに配本される前に、1135冊もの本が売れてしまったのです！チュニジアのジャスミン革命がFBで広がったというのを聞いたことがありますが、今まではピンときませんでした。でも、今回、私たちの本がFBによって大きな縁を紡がれ、広がり…、ジャスミン革命が起きたわけをちょっぴり体感できました。

さて、出来上がった本書ですが、ブルーの背景に緑豊かなシェーナウのまちという明るい表紙に、希望をもらえるという感想を多くいただきました。そして中味は読みやすく作られていて、内容も平易でわかりやすく、学校の副読本にしてほしいとのご意見もありました。中学生以上なら、わかる内容ですから、副読本とはいいいアイデアだと思いました！また、原発現地に全戸配布したいという声もあります。私たちもそういう日が来ることを願っています。

技術者でも専門家でもない私たちが、原発についてあれやこれ調べ、市民の視点で問題を切り取り、市民の言葉で語った『原発をやめる100の理由』。原発のない社会について考えるとき、また国民投票の際にも、きっと皆さんの力になることでしょ。

市民のための脱原発ガイドブックとして、欠かせない1冊となることを祈っています。

●『原発をやめる100の理由』日本語版制作委員会・著/西尾漢・監修/築地書館/A5判208頁 1,200円＋税

●「シェーナウの想い」DVDに関するお問い合わせは、「自然エネルギー社会をめざすネットワーク」のサイトから <http://www.geocities.jp/naturalenergysociety/index.html>